

新潟の体操と体友会

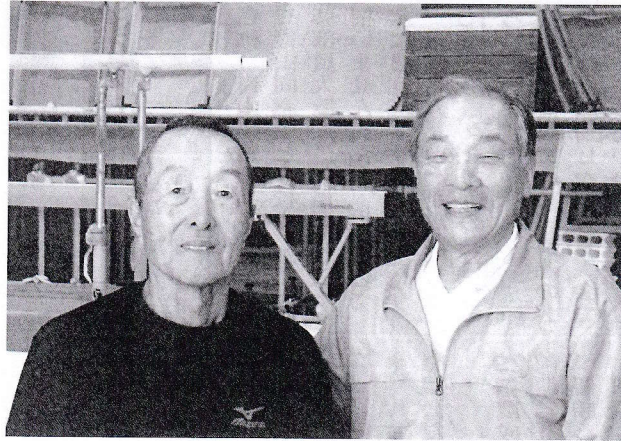
味方 繁夫 (67回)

59卒

昨年の体友会の集りの折、長い間幹事を続けて来られた58回の中川弘さんが年齢の理由で幹事を下りたいと、当日の出席者の方々からはもうしばらく体友会を続けてとの要望があり、やむなく67回味方繁夫と68回片桐靖孝が幹事を引き続くことになりました。

私達後輩は大先輩の方々から

ます。



新潟の体操は新潟中学から始まったんだよと聞かされて来ました。私も全国大会等で活躍した何人もの先輩を知っています。年1回の体友会の集まりでは、酒が進み酔いが回るといつも昔の活躍した話で盛りあがります。そんな話を聞く度に私は体操部だったことが誇りに思えます。

私は昭和31年の入学ですが、校舎が焼失した後で、体操部もありませんでした。しかしこの年に東京教育大学を卒業した渡辺建夫先生が新任で新潟高校に入ってきて来られました。先生はすぐに中学校で体操選手だった新入生の飯塚祥之君と内山義則君を見つけ、体操同好会を作ってくれました。

私と私の友人の片山忠一君は初心者で



の入会でした。この四人で始まった同好会でしたが、翌年には選手層が厚かった時代だったにもかかわらず、飯塚君は2年生で静岡国体、3年生で富山国体に出場しました。翌年には1年後輩の片桐靖孝君が3年生で国体出場と続きました。その後片桐君は順天堂大学卒業の年、昭和39年一順目の新潟国体では成年男子のメンバーで優勝に貢献しました。

その後は毎年何人かの素質のある選手の入部が続きました。しかし現在は体操部もなくなり、数年に1人の選手は中央区神道寺南にある鳥屋野総合体育館の練習室で練習している状態です。

新潟中学から始まった新潟の体操は、今は新潟市体操協会の味方、片桐、山崎圭君に引き継がれ、鳥屋野体育館の体操練習室で体操少年団(小学1年、6年まで)100名余りと、クラブ員(選手コース小学生、高校生まで)十数名の指導が続いています。

現在日本の器械体操は世界一と言えらると思います。しかし新潟の体操はいまひとつパツとしていません。

またいつか強い新潟の体操になって欲しいです、大変なことだけでも。

(写真は右 片桐靖孝 左 味方繁夫です)